

頸動脈エコーのまとめ

柳原腎クリニック

○横小路 齊 (ヨコミチ ヒトシ) 田中 秀信 ワシタリヤカ マゲ 岡田 菜摘 岡野 豪 高屋 裕紀
佐藤 誠太 本名 美佳 中村 幸子 土屋 和美 妹尾 篤 下村 里美 秋山 厚子 岩城 敏彦
松山 公彦

【目的】

透析患者において動脈硬化の評価は重要性を増し、当院での頸動脈エコーの結果を以下の方法にてまとめて報告する。

【方法】

・対象患者

頸動脈エコーを実施した患者 192 名 (死亡含む)

・評価項目

頸動脈エコーでの PS、PN、EDratio、狭窄、脳梗塞との関係进行分析

死亡患者の頸動脈エコーの分析

【結果】

生存患者では NDM 患者の PS13.1、PN6.6、EDratio1.2、PS 10 以上の患者は 50%。
DM 患者の PS15.0、PN7.2、EDratio1.31、PS10 以上の患者は 71%であった。死亡した患者では PS20.6、PN9.8、EDratio1.43。導入患者では導入時 PS10.0、PN5.3、EDratio1.32、PS10 以上の患者は 45%であり、1、2 年後では PS が上昇傾向であった。生存患者の PS10 以上で脳梗塞のある患者は 31%PS10 以下では 17%

【考察】

透析患者では PS は高い傾向であり、導入時の結果から導入前から PS が高いと推測されるが、年齢、内服薬などの解析も必要と考える。死亡患者では透析施行患者と比べると PS が高く生命予後因子の 1 つとして有用と考える。

【まとめ】

頸動脈エコーは透析患者において、動脈硬化の評価として重要ではあるが、透析導入前から検査を行なうことも重要である。今後、プラーク部位、形など評価する必要がある。